



駿府城跡 内堀の桜

目次

部長あいさつ	P2	年末年始の安全パトロールを実施	P5
静岡県環境森林部長 府川博明		支部だより 西部支部・東部支部	P6
賀詞交歓会盛大に開催	P3	特集 “あなたはどちらを選びますか”	P6
花と緑の講演会開催	P4	シダレヤナギの巻	
緑豊かな空港に 協会技術委員も植樹指導	P4	平成17年度建設関係資格試験・検定案内	P7
フラワー&ガーデニングフェア開催	P5	話題の森・お知らせ・編集後記	P8



静岡環境森林部長

府川 博明

冷たい冬も終わり、桜の開花とともに平成17年度がスタートいたしました。会員の皆様には心新たに活気あふれる新年度を迎えられたこと存じます。

また、昨年開催しました、しずおか国際園芸博覧会「浜名湖花博」への協力をはじめとして、日ごろから本県の緑化行政の推進に多大な御支援をいただいておりますことを、紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

これまで、本県では「富国・有徳」を基本理念として、魅力ある地域づくりを進めてまいりました。加えて本年からは、この基本理念の実現のため、新たにいろいろな分野の人が知恵や力をあわせて活動する「創知協働」をスローガンとして掲げることとし、これらの理念のもとに、今後も「魅力ある、しずおか」の実現に向けて一層努力したいと考えております。

「浜名湖花博」では、新しい社会の姿を志向した様々な試みが行われ、最新の緑化の技術やユニバーサルデザインが導入されるとともに、県民参加型の花壇の展示や長期間にわたるボランティアの方々の活躍があつて、大きな成功を取めることができました。三位一体の改革をはじめとする行財政改革や地

方分権の進捗など、変革の大きな節目の年を迎え、一方で民間活動による地域づくりがますます重要になり、他方では県民の生活も、便利さや経済的な充実を第一に求めるような風潮から、ゆとりやうるおいのある生活環境を求めるものへ変化し、景観にも配慮した豊かで良質な緑化が求められています。

このような状況を受け、花と緑にあふれる美しい自然共生型社会の実現を目指し、県民と行政の協働により緑化を進めていくため、昨年度末に緑化に関する各種の計画及び施策を体系化した、県土緑化の基本的指針となる「静岡県緑化推進計画」を改訂いたしました。

新しい緑化推進計画では、平成22年度を目標年度とし、「良質な緑化による美しい景観の形成」「県民と行政の協働による緑と花づくり」「緑の持つ多様な機能を発揮させる適正な管理」という3つの基本方針を立てています。基本方針ごとに「山・里・街・水辺」の4つの緑に区分して、それぞれの区分に添った具体的施策と目標・指標を示しています。緑化推進計画は、県の緑化に関する現状と目標を集約したものであることから、関係機関・市町村や県民の方々に対して広くPRするとともに、この計画に基づく県土の緑化を推進してまいり所存であります。

とりわけ、緑豊かなまちづくりのために必要な緑化工事の実施や維持管理業務をはじめとする重要な役割を担う協会会員の皆様には、造園に関する深い知識と高い技術力を、もつて、今後とも本県行政の推進に御支援・御協力くださいますようお願いいたします。

結びに、貴協会が更なる飛躍をされ、会員の皆様方がますます発展されますことを祈念いたしまして、私のあいさついたします。

草木余話

■オキナグサ(キンポウゲ科)

オキナグサは、赤紫色の花を四月頃、下向きに開く。花茎は、花の咲く頃は高さ十センチ前後だが開花後に伸び長くて四センチにもなる。花が終ると茎は直立する。産果は多数が球状に集まり、直径二・四センチで白い毛が密生する。和名はこの様子を見た人の頭に見立て「頭草」とよんだもの。

オキナグサは、かつては日本の草原の春を彩る代表的な植物であった。環境省のレッドデータブックでは、絶滅種に指定されている。草地の開発や園芸用の混雑で自生地が消失して、たといわゆるが、草地に対する火入れや採草等の管理がされなくなり、草地は常にアラスキ等に覆われ、草の低い植物は日光を受けることなく消滅している所も数多くあるのと思われている。



栗原出納長の御臨席のもと 賀詞交歓会盛大に開催

恒例の賀詞交歓会は、来賓として栗原橋梁出納長や森本勸国土交通省静岡国道事務所長、顧問の奥之山隆景議会議長、村松靖則静岡国際園芸博覧会協会事務理事ら多くの来賓の出席を得て、一月十九日ブケ東海静岡で盛大に開催した。



椅子席に変えて開催した賀詞交歓会



祝辞の栗原出納長

渡井公平副会長による開会の辞のあと、乗松文男会長が「昨年は浜名湖花博が成功裡に閉幕し、会員の長期間になわたる協力へのお礼のあと、最近の業況、四月一日施行予定の「公共工事の品質確保の促進に関する法律」制定の背景等を述べ、最後に今は漆黒の夜だが、地球温暖化への対策や多くの人に潤いと安らぎを与える緑化に直接携わっている我々は、多くの人達から信頼される造園建設業を目指し、自信を持って前進



あいさつする乗松会長

すれば、夜明けは来る。苦しい時こそ、会員が一人丸となって力を合わせ、英知をしばり、希望を持って立ち向って行こうではないかとあいさつ。その後、昨年一年間に表彰を受けた、県知事表彰の西野勢作前会長、国土交通大臣顕彰の植松静夫氏、優秀施工者知事顕彰の宮地和好氏の功績の紹介と会長から記念品の贈呈を行った。

17年 新年賀詞交歓会 社団法人 静岡県造園緑化協会



表彰を受けた西野氏、植松氏、宮地氏(左より)

三人の顕彰の後、来賓の栗原橋梁出納長、森本勸国土交通省静岡国道事務所長、顧問の奥之山隆景議会議長、村松靖則静岡国際園芸博覧会協会事務理事から祝辞をもら

い、伊藤孝(社)静岡県建設産業団体連合会会長の乾杯の音頭で懇親会に移った。本年は立席を椅子席に変えての懇親会で、なごやかにゆつたりとした情報交換が出来た。



祝辞の森本静岡国道事務所長

花と緑の講演会開催

花と緑を生かして地域おこしを

協会は、(財)静岡県グリーンバンクと静岡県さくららの会と共催で、二月四日、静岡市池田、グランシップにおいて、講師に浜名湖花博で「国際花の交流館」の主催者展示をデザイン及び施工監理された(株)辻本智子環境デザイン研究所代表取締役所長辻本智子氏を講師に招いて「地域をおこす緑と花のある暮らし」と題して、一般公開講演会を開いた。花博を地域おこしにどう生かすかというねらいもあつて聴講者は会員より一般参加や行政関係者が多く一六〇名に達した。



辻本智子氏

を促した。
更に辻本氏は「地域の特産物とその土地の自然とは密接な関係にある。まずは自分の住む土地にあるものを再認識し、①



熱心に聞きいる聴講者

感動、②交流、③教育効果、④環境緩和、⑤研究開発効果、⑥経済効果、⑦健康の七つの恵みを持つ花と緑を生かした地域おこしを」と呼びかけるとともに、

「皆さんは多くの伝統文化を花博から学んでいるはず。それぞれの地域で継承していただけることを期待しています」と話した。

緑豊かな空港に 協会技術委員も植樹指導

静岡空港建設地の緑を還元する「第四回空港の森ルネッサンス作戦」みんなでつこう緑の空港(県空港建設局主催)が三月六日、石川知事、建設地の榛原町や島田市の行政関係者、地元小学生、地域住民ら千二百人が参加して、榛原町坂口の空港本体部のり面で開催され、乗松会長、片桐副会長、技術委員ら十四名も参加し、植樹指導にあたった。

石川知事は参加者を前に、「オオタカは平成九年の観測開始以降最多のひながかえり、小動物も戻ってきている。環境を大事にする空港は着々と成果が出つつある」とあいさつした。

この後、空港の森ボランティアリーダーの newly 幸雄さんが植樹方法を説明して、参加者はグループに分かれ、それぞれが担当ブロックへ分かれ、植樹には、空港建設地周辺森林で採取した種子から育てた郷土種のクチナシ、ネズミモチ、ツツジなど十数

種の苗木約三千本が用意された。参加者は、協会技術委員、



参加者と植樹する知事

この作戦は、二〇〇一年三月の第一回を皮切りに、のり面が完成するたび行われており、すでに十四万本を植樹した。

植樹作業終了後の会場では、工事で使われる建設重機の見学会、空港建設地を上空から眺める「リコプター」の体験飛行、協会会員が指導に当たる本日記布の苗木の取扱説明会が行われ、参加者は空港整備への理解を深めていた。



のり面に植樹する参加者

フラワー&ガーデニング フェア開催

静岡県、(社)静岡県造園緑化協会など九団体で構成するふじのくにフラワー&ガーデニングフェア実行委員会主催の「フラワー&ガーデニングフェア2015 in 静岡」が「ひろげよう！花と緑のある暮らし」をテーマに二月十九日、二十日の二日間、静岡市池田のグランシップで開催され、二万六千人の入場者でにぎわった。



石川知事、奥之山県議会議長と

十九日午前の開会式には石川嘉延知事をはじめ、松井純静岡新聞社・静岡放送社長、乗松文男(社)静岡県造園緑化協会会長ら五十人が出席した。式典後、出席者は内覧会に臨んだ。会場内は生産者が出展した切り花や鉢花、造園緑化協会などの団体が製作した大型ディスプレイで埋め尽くされ、出展者は色とりどりの花、ディスプレイをじっくりと見て回った。



(社)静岡県造園緑化協会出展のスクエアガーデン

は桜井淳中部支部長(株)静岡グリーンサービスこの設計施工によるもので、90cm×90cmの四角のキルトを組み合わせたスクエ



出展庭園について説明する桜井支部長

アガーデンで、屋上庭園などに簡単に応用できる。知事の関心も深く、桜井支部長は熱心に説明し、質問にも応えていた。期間中は、メインステージでの、協会川崎専務理事による園芸講座「花木剪定のポイント」、ガーデニング体験教室、フラワーアレンジメントの実演などのイベントが開かれ、大勢の参加者でにぎわった。

二日目には出展した切り花や鉢物のほか、ディスプレイに使われた草花、庭木のオーナシヨ販売も行われ、買い求める客でにぎわった。今回は、浜名湖花博跡地で十八年四月二十八日―三十日の三日間「浜名湖フラワーフェスタ(仮称)」と銘打って大規模に開かれる予定となっている。

年末年始の安全パトロール を実施

協会では、国が展開する十二月一日から一月十五日までの「建設業年末年始労働災害防止強調期間」に、東・中・西の各支部長と各支部の啓発労働委員とで安全パトロールを実施した。

東部支部では環境再生保全機構構発注(株)望月庭園施工の静岡(富士)緑地造園工事他三ヶ所、中部支部では静岡土木事務所発注、(株)小林土木緑化施工



静岡(富士)緑地造園工事現場

の重点街路整備事業(ポケットパーク整備)他三ヶ所、西部支部では掛川市発注、田旗造園建設(株)施工の宮脇第一土地区画整理事業宮脇一号公園整備工事他三ヶ所。二十三項目の点検項目を設けてそれぞれの評価と総合評価を行った。総合評価では優六件、良六件であった。



現場掲示の各種表示看板

支部だより

西部支部

西部支部（鈴木寛支部長）では三月二十六日、浜北市万葉の森公園玄関口にある、国道一五二号平口交差点近くの親水公園で、市の緑化ボランティアの皆さんとコミュニティ緑化推進事業を実施した。

会員で、メインに浜北市の木「イヌマキ」を植樹し、鈴木支部長が浜北市の生態利行都市建設部長に目録を手渡した。植樹したイヌマキは、高さ約五メートル、枝張り約二メートルで見ごたえのある仕立木。周囲には市の緑化ボランティアの皆さんが色とりどりの花の苗を植えて美しく飾った。



草花を植える地元の皆さん

生態部長は「市制四十二年の歴史に幕を閉じ、合併元年となる節目の年。良い記念樹になる」と感謝された。鈴木支部長は「すくすくと形良く育ち、一つのシンボルになって欲しい」と期待を寄せた。

東部支部

東部支部（小林百二支部長）では三月二十五日、沼津市金岡地区センター、我入道コミュニティセンターの二カ所でコミュニティ緑化を推進した。

当日は、協会の地区役員、地元関係者十五人が参加して東部支部で準備したウッドプランター二〇個に客土、堆肥、肥料などを混入し、ハンジー、ノースポール等四八〇株を植え付け、建物周辺に配置した。



プランターに植え込む会員

特集

“あなたはどっちらを選びますか。”

本紙裏表紙にあるように街路樹管理のあり方が問われている。それは街路樹ばかりではない。都市公園、学校の緑地、公共機関の緑地も大同小異。植栽時が最もよくて、年とともに醜い樹形になっていく。本来であればあり得ないことである。その原因は発注者側にあるのか、受注者側の技術不足なのか、それとも沿線、近隣住民の無理解なのか。理由はともあれ、本号より、写真で見る街路樹管理のあり方を視覚に訴えてみたい。

シダレヤナギの巻



歩行者や自動車の通行にも支障なくまた「柳に風」とおり風に対する抵抗も少ない。



自然樹形に忠実に剪定されたシダレヤナギ。このような剪定をすると真には右の写真のようなすばらしい樹姿となる。



低い位置で等式剪定されたシダレヤナギ。このような剪定をすると切り口から不定芽が伸びて枝葉が密生し、風通しも悪い。ヤナギの枝は1年に2m位は伸びるので剪定位置が低いと歩行者や自動車の通行支障にもなる。冬の姿も醜い。

平成17年度建設関係資格試験・検定案内

■建設業法による技術検定の実施予定(順不同) ●願書販売(配布)開始 ●申込受付期間 ●実施日程(時期) ★合格発表(時期)

実施機関	資格名	試験名	17年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	土木 施工管理技士	1-2級土木施工管理 技術検定試験	21 ●	1-15 ●				3 17 ●	19★	2 ●	19★		
2	建築 施工管理技士	1-2級建築施工管理 技術検定試験	4 ●	15-4 ●			12 ●	1 15-21 ●	26 ●	13 ●			
3	管工事 施工管理技士	1-2級管工事施工管理 技術検定試験			20 ●	6-20 ●			4 15 ●				
4	電気工事 施工管理技士	1-2級電気工事施工管理 技術検定試験	4 ●	15-4 ●			32 ●	1 15-21 ●	26 ●	13 ●			
5	造園 施工管理技士	1-2級造園施工管理 技術検定試験			6 ●	20-2 ●			4 15 ●				
6	建設機械 施工技士	1-2級建設機械施工 技術検定試験	中旬 ●	18-31 ●			19 ●	1★ ●	下旬-中旬 ●			中旬★ ●	

- 1.3.5. (財)全国建設研修センター / 東京都千代田区永田町1-11-30 サウスビル永田町ビル 1. TEL 03-3581-0138 3.5. TEL 03-3581-0139 <http://www.jctc.jp/>
 2.4. (財)建設業振興基金(試験研修本部) / 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目ビル2号店 TEL 03-5473-1581(代) <http://www.kensetsu-kikin.org/honbu/>
 6. (社)日本建設機械化協会 / 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3433-1575(代) <http://www.jcmet.or.jp>

■その他の主要資格試験・検定の実施予定(順不同) ●願書販売(配布)開始 ●申込受付期間 ●実施日程(時期) ★合格発表(時期)

実施機関	資格名	17年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	18年1月	2月	3月
1	建築士	1月1日 ●	3月 ●	4月 ●			3月 ●	4月 ●	1月 ●	1月 ●		7月 ●			
2	技術士・技術士補	1月 ●	1月 ●	2月 ●			2月 ●	2月 ●	1月 ●	1月 ●		1月 ●			
3	電気主任技術者	1月 ●	1月 ●	1月 ●			2月 ●	2月 ●	2月 ●	2月 ●		2月 ●			
4	電気工士	1月 ●	1月 ●	1月 ●			2月 ●	2月 ●	2月 ●	2月 ●		2月 ●			
5	宅地建物取引主任者														
6	土地地区画整理士														
7	技能士	1月 ●	1月 ●	1月 ●			2月 ●	2月 ●	2月 ●	2月 ●		2月 ●			
8	危険物取扱者	1月 ●	1月 ●	1月 ●			2月 ●	2月 ●	2月 ●	2月 ●		2月 ●			
9	建設業経理事務士	1月 ●	1月 ●	1月 ●			2月 ●	2月 ●	2月 ●	2月 ●		2月 ●			

●試験・研修の日程は変更されることもあります。申込受付期間等の詳細は、あらかじめ各実施機関に確認してください。

【指定試験機関(実施機関)】

1. (財)建築技術教育普及センター 東京都中央区京橋2-14-1 TEL 03-5524-3105 <http://www.jaic.jp>
 2. (社)日本技術士会 東京都港区虎ノ門4-1-20 田中ビル9F TEL 03-3450-1333(代) <http://www.engineer.or.jp>
 3. (財)電気技術者試験センター 東京都千代田区有明1-7-1 有明電気ビルディング北館3F TEL 03-3213-5594
 4. (財)不動産造取引推進機構(試験部) 東京都港区虎ノ門3-8-21 第33森ビル3F TEL 03-3415-8181(代) <http://www.reiis.or.jp>
 5. (財)全国建設研修センター 東京都千代田区永田町1-11-30 サウスビル永田町ビル TEL 03-3581-0139 <http://www.jctc.jp/>
 7. [実施機関と同一(合わせ先) 各都道府県職業能力開発協会 (問い合わせ先) 中央職業能力開発協会 東京都文京区小石川1-4-1 住友不動産東園ビル9F TEL 03-5800-9338
 8. [全国(東京都を除く)(財)消防試験研究センターの各都道府県支部
 (東京都)(財)消防試験研究センターの中央試験センター 東京都渋谷区経ヶ谷1-13-20 TEL 03-3460-7788(代) <http://www.shoubo-shiken.or.jp>
 9. (財)建設業振興基金 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目ビル2号店TEL 03-5473-4581 <http://www.kensetsu-kikin.org>

森の話題

業界紙「環境緑化新聞」にこのようなセンセーショナルな見出しの記事が掲載されました。このような管理は何も東京に限ったことでなく、地方都市もどひどいと思われる。どうすれば植栽目的になった管理が、その樹種本来の管理が出来るのか。発注者、受注者、沿路住民が真剣に考えなければならない。このような管理は街路樹だけでなく都市公園、学校、県有施設等公共施設でも日常的に見られる光景である。

「善路樹」の惨状

消える公共財産

無残、醜悪の姿さらす

剪定技術、不在の現実



剪定技術のない街路樹の姿。剪定技術の不在が原因で、街路樹の姿が醜悪な状態に陥っている。

剪定技術の不在が原因で、街路樹が醜悪な姿を呈している。街路樹は公共財産であり、市民の生活に大きく影響を及ぼしている。また、街路樹の剪定技術の不在は、街路樹の健康を損ない、早死の原因にもなる。また、街路樹の剪定技術の不在は、街路樹の健康を損ない、早死の原因にもなる。また、街路樹の剪定技術の不在は、街路樹の健康を損ない、早死の原因にもなる。

剪定技術の不在が原因で、街路樹が醜悪な姿を呈している。街路樹は公共財産であり、市民の生活に大きく影響を及ぼしている。また、街路樹の剪定技術の不在は、街路樹の健康を損ない、早死の原因にもなる。また、街路樹の剪定技術の不在は、街路樹の健康を損ない、早死の原因にもなる。

街路樹の競争入札の弊害明らか 学会ようやく動き出す

街路樹の競争入札の弊害が明らかになり、学会がようやく動き出す。競争入札による街路樹の管理は、街路樹の健康を損ない、早死の原因にもなる。また、競争入札による街路樹の管理は、街路樹の健康を損ない、早死の原因にもなる。



ケヤキ本来の美しい姿

専門屋への発注制度を 街路樹問題 吉村金男氏の話

街路樹の競争入札の弊害が明らかになり、学会がようやく動き出す。競争入札による街路樹の管理は、街路樹の健康を損ない、早死の原因にもなる。また、競争入札による街路樹の管理は、街路樹の健康を損ない、早死の原因にもなる。

05年3月15日 環境緑化新聞

お知らせ

◆第二十六回通常総会も四月二十八日、ブケ東海静岡で開催され、平成十六年度事業報告並びに収支計算書及び平成十七年度事業計画並びに収支予算案が原案どおり承認され、名実ともに十七年度がスタートしました。当日は、今までの昼食会を止めず津本寺 森清館員主をお招きして「木のく利益」の演説も記念講演いただいた。一般の聴講もあつて好評の内に終了しました。詳細は夏号でお知らせします。

◆今年も選園総会管理技術検定試験が九月十八日(一級、十八日に二級)が実施されます。それを受験する人を対象に希望者を募って直前講習会を今夏実施してきました。しかし、受講希望者が年々減少して、今年は実施するかどうか判断に迷っています。受講希望者がありましたら、本協会まで御連絡を。仕事量が減ったとはいへ、世は資格時代です。是非資格を取って下さい。

◆静岡園芸協会静岡支部協会から浜名湖花博「花と緑の記録」が緑化協会に在販があと四十部ありました。購入希望者は、まだ多数です。単冊は送料、税込みで二千五百円です。協会事務所まで御連絡下さい。

編集後記

春号が初夏の発行になってしまいました。次号は夏号で八月上旬発行を予定しております。投稿をお待ちしております。